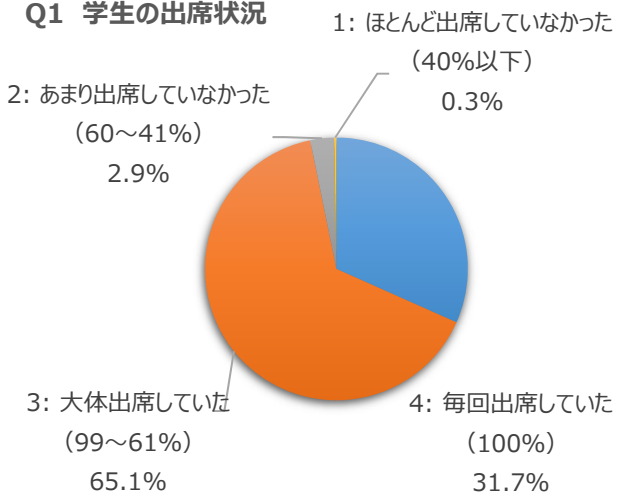
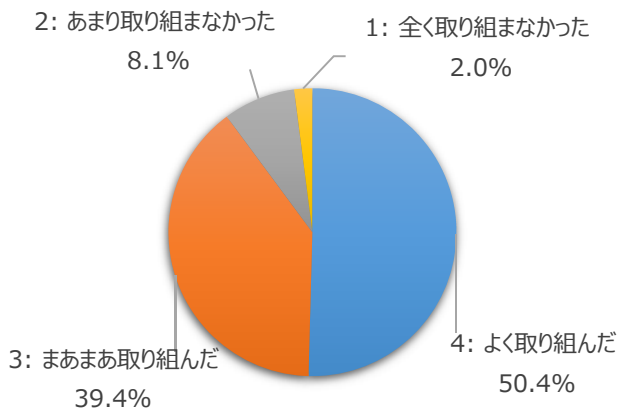


2022 年度後期授業アンケート 全体概要

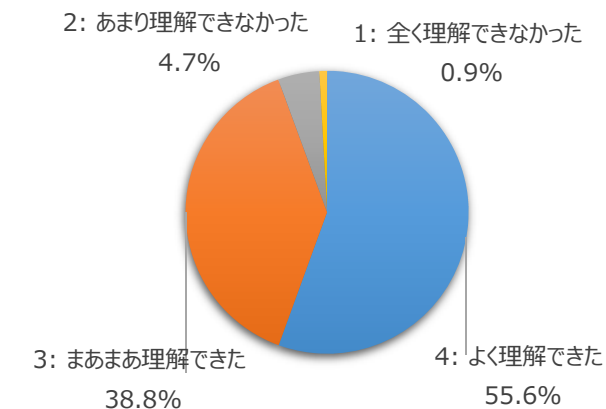
Q1 学生の出席状況



Q2 予習・復習・課題などへの取り組み状況



Q3 授業内容の理解



実施概要

1. 目的：

学生の授業の理解度、授業運営方法の有効性などを把握し、担当教員の授業改善に役立てる。

2. 対象科目：

実習科目、複数教員科目を除く全科目

(245 科目：専任 155 科目、非常勤 90 科目)

3. 調査方法・項目：

Google Form による web アンケート

13 項目（うち自由記述 2 項目）

4. 調査期間： 12/6 (火) ~12 月 19 日 (月)

5. 回答状況： 延べ 2590 件の回答

6. 回答率※： 専任 56.8% (58.9%)

() は前期 非常勤 50.0% (57.8%)

全体 54.5% (58.7%)

※科目別には、0%~100%とばらつきが見られた。

■「Q2 予習・復習・課題などへの取り組み状況」については、「よく取り組んだ」と「まあまあ取り組んだ」を合計すると、89.8%となり、前期と比べると課題等に熱心に取り組む学生が 2.8%増加した（今年度前期 87%）。

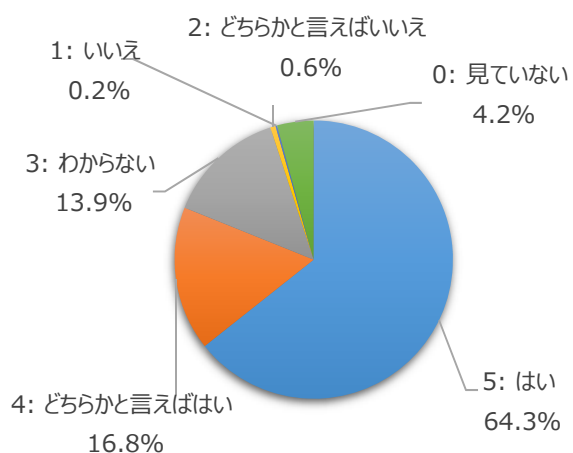
■「Q3 授業内容の理解」については、「よく理解できた」と「まあまあ理解できた」を合計すると、94.4%となり、前期と比べても授業内容を理解している学生が増えている。（今年度前期 93%）。

■「Q5 授業の進行度合 (78.2%)」、「Q6 課題の量 (78.1%)」については、どちらも 70%以上の学生が「ちょうどよい」と回答している。（今年度前期はそれぞれ 76%、77%）。

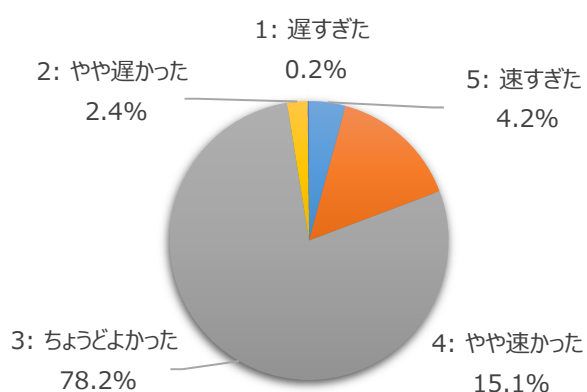
■「Q7 教員から学生へのフィードバックの有無」は、「はい」「どちらかといえばはい」の合計が 87.1%であり、今年度前期からは 2.1%増加している（今年度前期 85%）。

2022 年度後期授業アンケート 全体概要

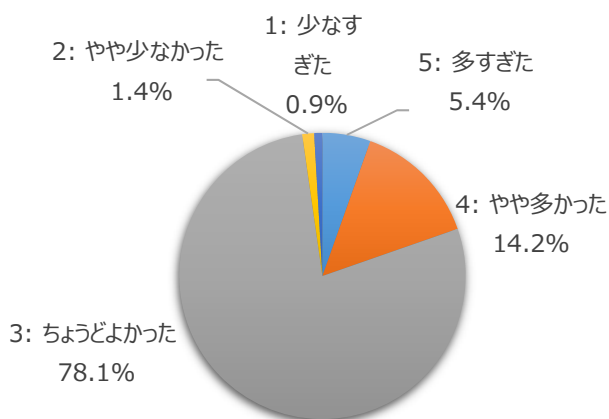
Q4 「シラバス」の授業への適切な反映



Q5 授業の進行具合



Q6 課題の量



■「Q8（教員による）学生の対する授業参加への促し」および「Q9 担当教員の熱意」については、「はい」「どちらかといえばはい」を合計するとそれぞれ 95.4%、97.5%となっており、「Q10 総合満足度」の高さ（「はい」「どちらかといえばはい」の合計 96.1%）につながっている。

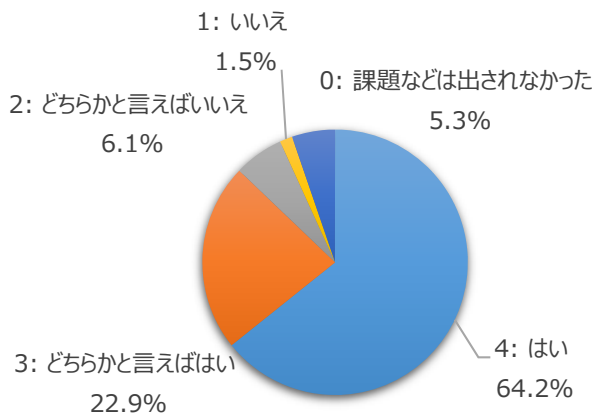
■「Q11 開智式教育にもとづく授業方法」は、今年度前期と比較し、以下の 5 項目で「多かった」が上昇した。

- ②ディスカッション（+1.8 ポイント）
- ③グループ・ペアワーク（+2.3 ポイント）
- ④プレゼンテーションの有無（+2.0 ポイント）
- ⑥ビデオ・ビジュアルの工夫（+0.8 ポイント）
- ⑧英語による説明、キーワード紹介
英語科目除く（+2.0 ポイント）

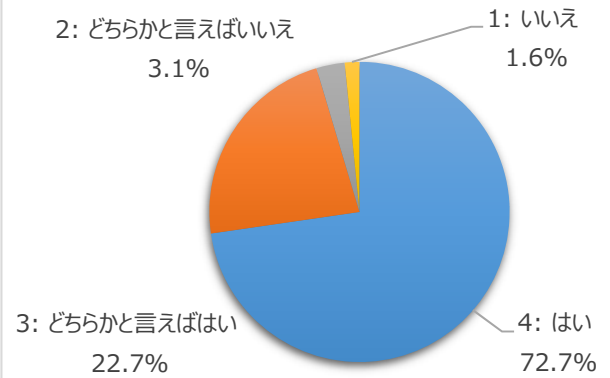
①に関しては前後期通して昨年度後期の結果から減少しているため、今後の課題となる。

2022 年度後期授業アンケート 全体概要

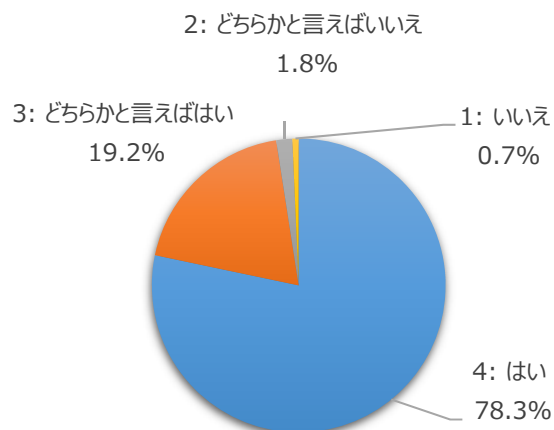
Q7 教員から学生へのフィードバックの有無



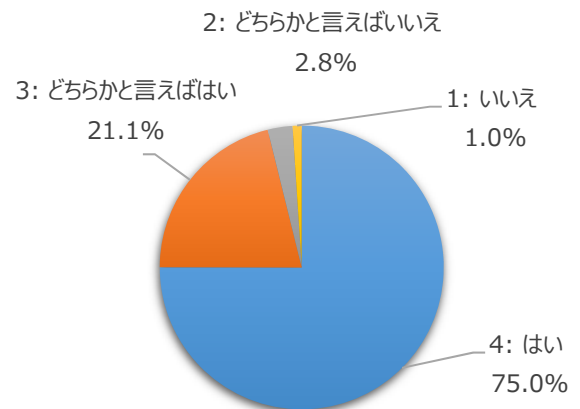
Q8 授業への学生参加の促し



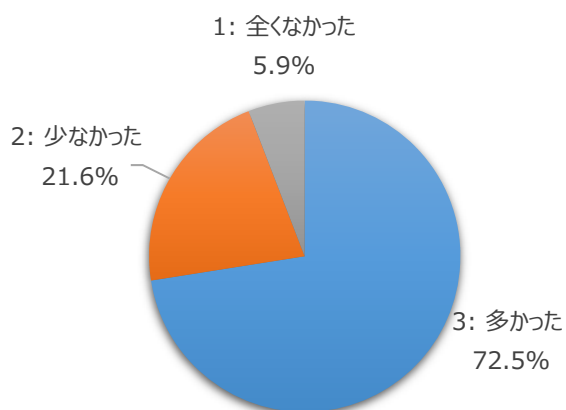
Q9 担当教員の熱意



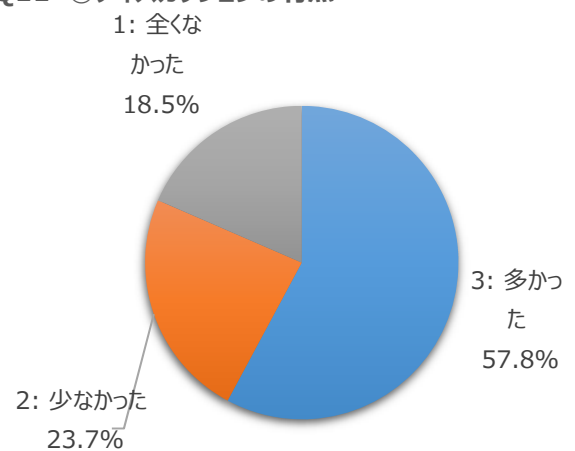
Q10 総合的満足度



Q11 ①レジュメや資料の工夫

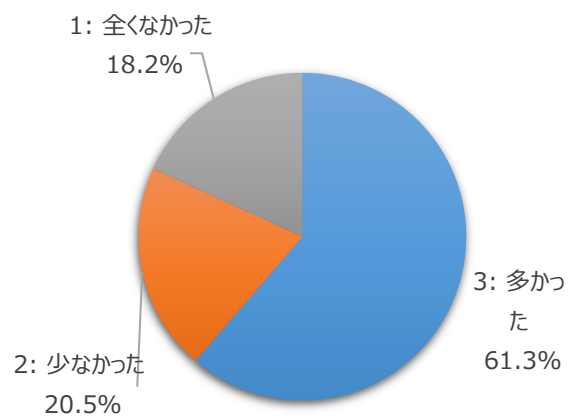


Q11 ②ディスカッションの有無

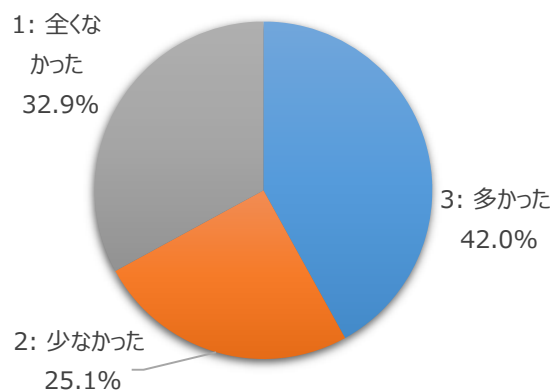


2022 年度後期授業アンケート 全体概要

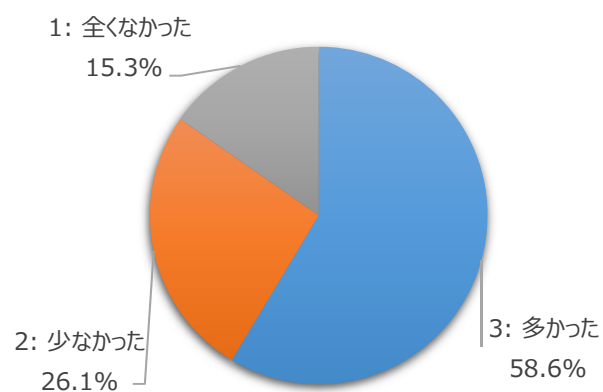
Q11 ③グループワークやペアワークの有無



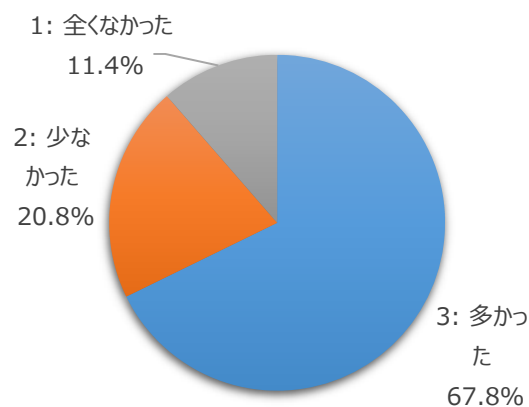
Q11 ④プレゼンテーションの有無



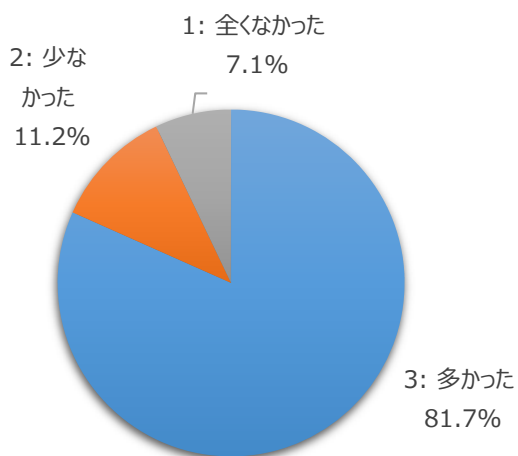
Q11 ⑤学生のPC・タブレット使用



Q11 ⑥ビデオ（動画）やビジュアルの工夫



Q11 ⑦教員のICT機器の活用



Q11 ⑧英語による説明、キーワード紹介
英語科目除く

